

グリーンパーク熊取だより

平成28年度番号 広報誌vol.76 2016.3.24 発行 NPO法人グリーンパーク熊取 tel.072-453-5556 www.greenpark-kumatori.com/



●みんなおいで♪ ～イベント情報～

- ★春の里山ハイキング 4月9日(土)
 - ★和田山パークまつり 4月29日(祝)
 - ★バードウィーク 5月14日(土)
 - ★さや池観察会 5月29日(日)
 - ★ホテル観賞会 6月11-12日(土日)
 - ★初夏の野外活動体験塾 6月18日(土)
- (詳しい開催情報はホームページをご覧ください)

熊取ゆうゆう大学連携講座

初心者のための

「アウトドア倶楽部」～里山を楽しもう♪～

●春です! アウトドアです♪

パークがお薦めする イベント企画

①まずは「春の里山ハイキング」です。奥山雨山自然公園は春本番、サクラからツツジへ移ろう時節、陽の差し込むコースに山野草が花を咲かせています。芝生広場でお弁当を開き、野鳥の鳴き声に合わせ舌鼓を打ってみましょう。東ハイキングコースを出ると、2キロの桜並木が待ち受けています。



②冬から春へ、今年の野鳥の生息状況を「バードウィーク」で更にじっくり観察してみましょう。

すっかり落葉したメイプルの街路樹を歩いていると鳥の巣を見つけた。円錐形で察するにヒヨドリのようだ。巣材に小枝を器用に編み込み、ビニール紐や布の一部も見られた。多分、去年の新緑の時期に親鳥たちが歩道の頭上でせっせと巣を作り子育てをしたに違いない。もうすぐ、植物の芽吹き季節となります。里山では生き物の素晴らしい発見があります。

③生き物の息吹をじかに感じる「さや池観察会」へ出発。春になり活動をはじめた水辺の生き物をのぞいてながめる!、魚やエビをとれる!のが「さや池観察会」。何年もかけピオトープに整備し管理しているため、バスやブルーギル、ザリガニ、ミシシippアカミミガメなどの外来種はいません。大正2年(103年前)の地図にも載っている『さや池』のピオトープで遊びませんか!

色々な企画を準備して皆さんのお越しを待っています。是非、野外活動ふれあい広場に来て新緑の世界にひたりましょう!



●パーク工房

花炭といいます。松ぼっくりはとても繊細なので、丁度よい焼き加減が難しいです。



春のおすすめ“本”

エコロジーガイド
「日本の帰化生物」

監修：鷲谷いづみ
森本信生

出版：HOIKUSHA
(熊取図書館 蔵書)



和田山をたのしむ

★春の散策紹介★

△～△は散策道の案内表示番号です。
ご紹介した生物は持ち帰らず、自然の中で楽しみましょう。

和田山の魅力は何と言っても頂上から眺めるパノラマの景色だろう。特に関西空港からの飛行機の離着陸を見ているとあっという間に時間がすぎてしまう。短時間で登れ喜びが大きい山である。



⑨ツグミ

シベリア東部からカムチャッカにかけての地域で繁殖し、冬鳥として全国に渡来する。越冬地では、一羽で行動することが多く餌を探すときに、地上で数歩ずつ飛んだり歩いたりしてはついばみ、また、数歩移動する動作を繰り返す。

⑩タカノツメ

春の山菜は、全般的に苦味が有るものが多いと言われる。でも、この苦味こそが春の味なのだ。ぜひ、和田山パークまつりで、味わってはいかがでしょうか。



⑪オオイヌノフグリ

小花で、可愛い、水色の花なのに、何とも気の毒な名前を付けられたものだ。春の明るい光を浴びて、水色の宝石を散りばめたように美しい。



⑫ナナホシテントウムシ
野菜に付くアブラムシを退治する、正義の味方だ。テントウしないよう、ケントウを祈る！！



⑬ヒメオドリコソウ
葉の表面はしわがあって、上部は小さく重なってむらさき色をしている。ルーペで花を見ると、淡いピンク色の口を開け「あかんべー」をしているように見える。



和田山を楽しみましょう！
このコーナーも管理人室前においてあります。
野外活動ふれあい広場からは
15分程で和田山▲頂上へ。

資料提供・野草樹木昆虫G 野鳥G 水生生物G
里山保全G
構成・事務局広報部広報紙担当

【フィールドノート】 クズ 「価値ある飼料から、雑草へ、地位転落！」

●アメリカでは日本から帰化した「クズ」が大繁茂して問題となっている。この強靱さで、中国砂漠やフィリピンの火山を緑化しようとする動きがある。人間の勝手な立場から言うと「害草」でもあり「益草」でもある「クズ」。葛が輸入されるきっかけは、19世紀末、米商務省の植物探検隊が来日した折、野生の葛で家畜を飼育しているのを見たためだと思われる。

1902年探検隊の一員が、自宅で葛を利用し始めました。同じ頃、フロリダ州の農民が家畜が好んで葛の葉を食べるのに目を付け、高品質の飼料として売り出しました。1920年代に入ると、鉄道会社が飼料作物の輸送量が増えると期待して葛の苗の無料配布を行い、葛はアメリカ南部一帯に広まりました。1929年ウォール街の株暴落をきっかけにアメリカは不景気に突入り、南部の農民は家畜の飼料代にも困り、手間要らずで荒地でも育つ葛を飼料として植えるようになります。こうして葛は急速に広まりました。1936年農務省土壤保全局が工事現場の土砂流失を防ぐ目的で、葛を植えることを奨励し始めました。テネシー川開発で、葛はその地位を不動のものとししました。葛の栽培には、連邦政府が補助金を出し、また、雇用創出政策の一環として、堤防や高速道路の法面に葛を植え

る事業も始めました。しかし、1950年代に入ると葛の侵略性(植え付けた場所以外にも広まる)と駆除の困難が明らかになった上、飼料の価値も下がり、ついに1970年米国内務省が『葛は雑草』と宣言して、葛はその地位を完全に失ったのです。

●蔓性植物のクズ(葛)は、マメ科クズ属、別名クズカズラと言う多年生植物である。昔、大和国(奈良県)国栖(くず)が葛粉の産地であった、国栖の蔓(クズのかすら)が国栖蔓となり略されてクズとなり、漢字を当てたと言われる。北海道からニューギニアに分布し、沖縄や北アメリカに帰化している蔓性で大型の多年草。塊根をもち、長さ1.5m、径は約20cmになり、多くのデンプンを蓄える。秋の七草の一つで、山野や河原で他の木などに絡みつく。夏に生育は非常に旺盛で太い茎をのばして繁茂し、辺り一面を葉で覆ってしまう。晩秋の頃には葉は枯れ落ちてしまうが、蔓は枯れずに残り、年を追うごとに太くなりやや木質化する。赤紫の豆の花を咲かせるが、花穂は繁茂した葉の下になって目立たないことが多い。根(葛根かっこん)から取れるデンプンは葛粉と呼ばれ、葛切り・葛餅・葛湯・漢方薬(葛根湯など)の原料となる。現在の葛粉の多くは小麦や馬鈴薯のデンプンである。



【みつけた】

小生が散歩中、習慣となっている相撲の四股を踏んだ後、腕立て伏せを開始。5回10回と行っていた時、目の前に「四葉のクローバー」が生えているのを発見した。四葉のクローバーが見つかる確率は1万分の1とのこと。花言葉は、皆さんご存知のとおり「幸せを運んでくれる」ことなので当然写真をパチリ。60歳代の下り坂人生の小生にとっては、「孫がすくすくと成長すること」くらいしか願ひ事はないのだが、お天気占いの「あーした天気になーあれ」の言葉をまねて「あーしたいいいことあーれ」とつぶやきながら散歩を続けた。ちなみに五葉、六葉、七葉と見つかったが、2010年に岩手県で56葉のクローバーが発見されて、ギネス認定されているとのこと。

【四季のであい】 ～冬～

- ★カラスが群れを成す!50~60羽も集まればそれはもうヒッチコック『鳥』の世界です!!
- ★初夏のように暖かい日のあったこの冬。まゝ草が育つ、育つ! 雑草との格闘です。



【イベントだより】 しめ縄づくり12/23
今年も恵まれ豊作となった。しめ縄にするわらも良いのが獲れた。私たちのしめ縄作りは、6月の田植えから始まり9月末の稲刈り、だて垣を作り稲わらを乾燥させ、稲穂1株ずつすべて手作業だ。作り方が難しいしめ縄は、最近では田舎でも高齢化が進み自分で作るのが難しくなってきた。グリーンパークでは誰もが作れるようにするため、技術と経験が問われる手足を使う編み方から、4人1組になって編んでいく方法に変更し、経験のない人にも取っつきやすくした。12月23日毎年実施の「しめ縄づくり」、皆さんも手づくりのしめ縄で新年を迎えませんか。

パークボランティア協会の第二代代表清原清治さん退会にあたり一稿をお願いしました。

和田山に菜の花が咲き、桜の花も間近にひかえ、ボランティアの皆様が、大いに活動する頃となりました。頑張ってください。私こと早くも85才を迎えるお結の体となり、足腰は勿論持病の心臓も弱りペースメーカーのお世話になっています。でも自分自身を励まし、笑うこと、歩くこと、軽い体操に心がけ、週2日程度ケアパートに通い、健康管理に努めている昨今です。この20年間、家族を含め、ボランティアの皆様のおかげ頂き、良きボランティア熊取の一員として参加できたことに深く感謝し、心の財産として生き伸びたいと念じています。

私は町の自然大学講座受講を契機として、前身であるパークボランティア協会をどのような組織と活動内容に組み立てるのか、発足当初から有志と知恵を絞ったものであります。いかに心からの触れ合いの大切さを知り広めていくか、を課題としてこれまで努めてきたつもりです。印象深いのは、よき友との出会いで、菊仲間の新居田氏(四国巡礼で学んだ心の持ち方)、故二俣氏(酒盛りと提言と行動力から人の大きさに感服)、松田氏、故村崎氏との話らい、友情のありがたさを実感しています。

菊グループと云えば、その大菊作りの底辺には、永楽ダムの周辺側溝の清掃を含め、落ち葉を集め堆積発酵と切り返して腐葉土とする保全活動があります。菊作りは土作りが基本で、現在では一級品の腐葉土を培養し、年間の必要量を確保するまでに至ったこと、まことに一致協力の賜であります。この腐葉土を活用して立派な大菊を咲かせ、今後は懸崖作り、盆栽作りにも挑戦してほしいと望みます。現在はボランティア全体の活動も発足当時からのイメージに比べて皆様の方で充実発展。学校との交流、指導も熱心に取組まれ、その活動を進める姿勢に心強く思います。

最後に、熊取が好きで、里・木・野草・花・菊が好き、酒を飲み交わす友が好き、子どもを我が子のように育て、ボランティアの仲間と心から話らい、みんなと寄り添い自然と触れ合い接することが大好きなお結から皆様へ、これからは皆様の元気と活躍に期待しています。 清原清治

「大菊三本仕立て」より

【最近の出来事】

- 七草粥と新春野草観察会 1/16
- 風を作ろう 1/24
- 炭焼き体験 2/13
- 野鳥観察会 2/20
- 見出川をきれいにしよう 3/20



編集後記 清原清治氏には大菊の育て方特集を一年間執筆いただき、編集に大なる励ましをいただきました。感謝です。(堀川)

【平成28年度パークイベント一覧】

月	日	曜	イベントテーマ
4	9	土	春の里山ハイキング
	29	祝	水とみどりの和田山パーク ふれあいまつり
5	14	土	バードウィーク
	29	日	さや池観察会
6	11±12		ゲンジボタル観賞会
	18	土	初夏の野外活動体験塾
7	大菊の補助仕立てに挑戦		
	①7月9日(土) 菊のさし芽		
	②7月30日(土) 5号鉢へ鉢上げ		
	③9月3日(土) 開花までの管理作業		
16	土	中家親子自然教室 セミの羽化の観察	
18	祝	中家親子自然教室 セミの羽化の観察	
24	日	川たんけん	
8	夏休みこども自然教室		
	6	土	企園中
	7	日	企園中
	20	土	企園中
	21	日	企園中
9	10	土	初秋の野外活動体験塾
10	23	日	鳥とドングリ
11	5	土	熊取緑化フェアー 町民文化祭
	6	日	環境フェスティバル 町民文化祭
	12	土	おおさか山の日
12	3	土	子ども広場
	4	日	農業祭
	10	土	初秋の里山ハイク
	23	祝	しめ縄づくり
1	14	土	七草粥と新春野草観察会
	29	日	和風をつくろう
2	11	土	炭焼き体験
	18	土	野鳥観察会
3	19	日	見出川クリーンアップ

毎月第4土曜日 くまとり元気広場 開催中
イベントは変更する場合がございます。お申し込みの際は開催内容詳細をホームページでご確認ください。

[グリーンパーク熊取 公式ホームページ](#)

検索

NPO法人グリーンパーク熊取

会員募集中

【2つの活動の柱】
環境の保全を図る活動
子どもの健全育成を図る活動


私達と一緒に活動しませんか？

【活動の目的】
地域の人々や子ども達が自然とかかわり、触れ、楽しむ自然ふれあい活動を支援し、自然環境保全の大切さを共に学び、伝え、皆で保全活動を行い、より恵まれた自然環境を次世代に引き継いでゆくために、自然環境保全の増進に貢献・寄与することを目的とする。
(定款より)